

果

施したアンケート調査の結果

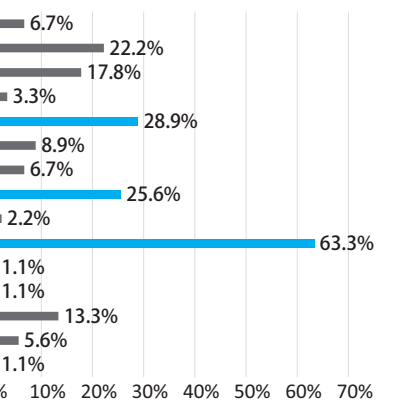
ご要望も多く寄せられました。
の提言」についても、大変多

計画策定に向けて、皆さまが
させていただきます。

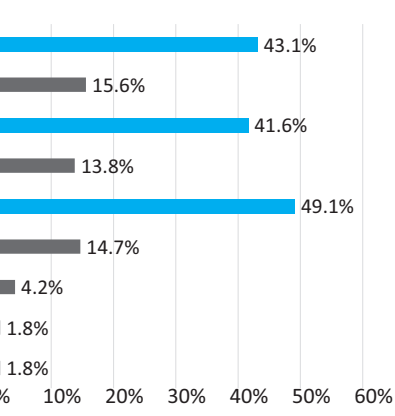
平成で表示しています。

調査対象地域 妹背牛町全域
 調査対象者 町内在住の18歳以上の男女
 抽出方法 無作為抽出
 調査人数 700人(男性350人、女性350人)
 回収率 47.7%(334人/700人)

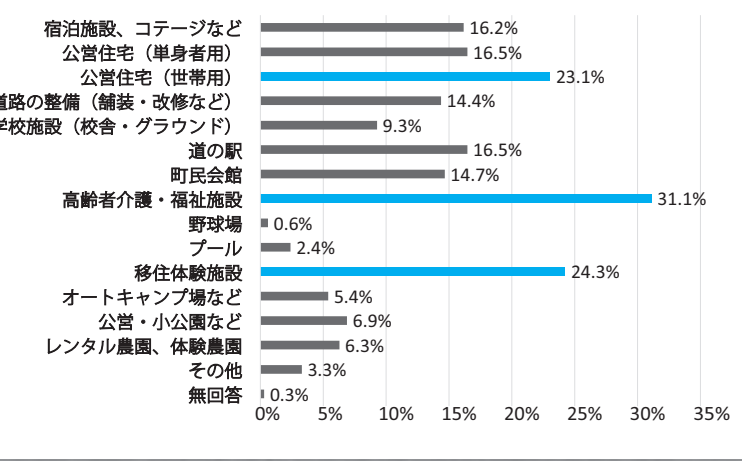
「例えば暮らしにくい」もしくは
方へお伺いします。妹背牛町が
うな面ですか。(2つまで選択)



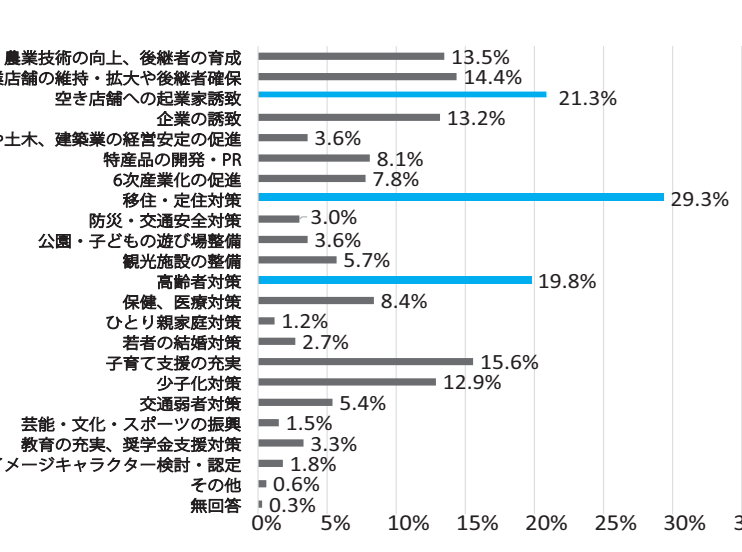
町がどのような「まち」になっ
つまで選択)



問5 あなたは次の施設のうち、今後10年間で整備が必要
だと思ふものはどれですか。(2つまで選択)



問6 あなたは今後のまちづくりでどの分野に重点を置いて
取り組むべきとお考えですか。(2つまで選択)



まちづくりアンケート調査結

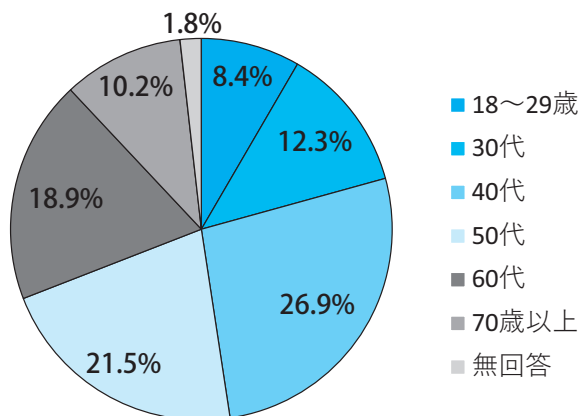
第9次妹背牛町総合振興計画（まちづくり計画）の策定に向けて、今年8月20日に700人を対象に実についてご報告いたします。

今回の結果につきましては、前回、前々回を大きく上回る回収率であり、さらに自由記述欄へのご意見・また、8月10日から9月20日までの期間、町内5施設に回収箱を設置して行いました「まちづくりへくのご提言をいただきました。

今回のご要望の中には、「アンケート結果を公表していただきたい」との声も多くありましたことから、どのように考えているのか、共有することも考え、紙面の関係上、一部抜粋とはなりますが広報紙でご報告アンケート調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。

※第9次総合振興計画期間（平成32～41年度）10年間 元号が変更となりますが、現段階では未定のため、

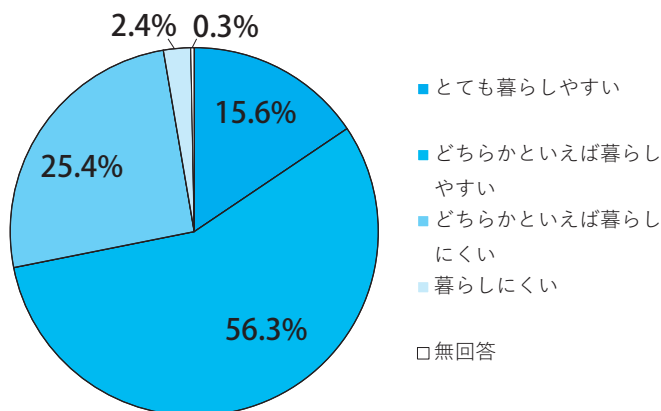
問1 年齢



問3 問2で「どちらかと「暮らしにくい」と回答した暮らしにくい理由はどのよ

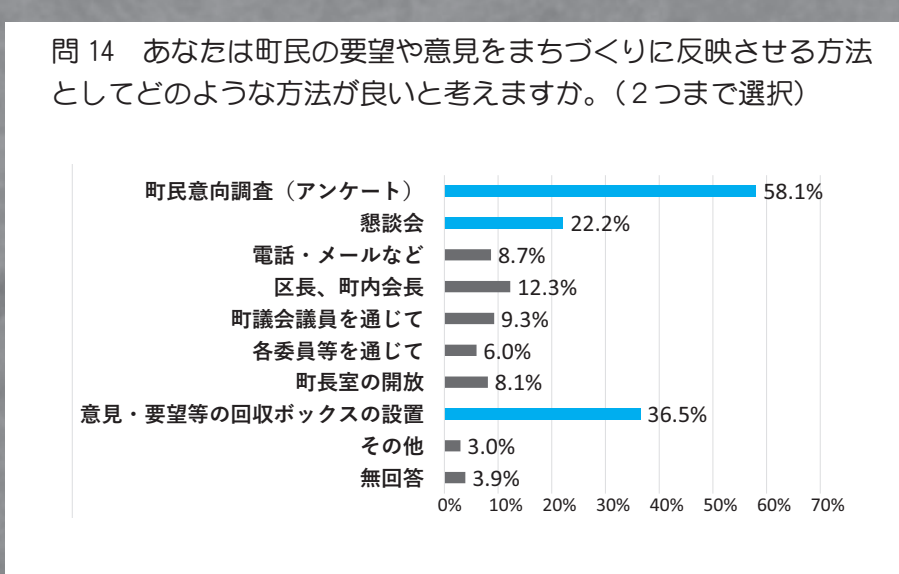
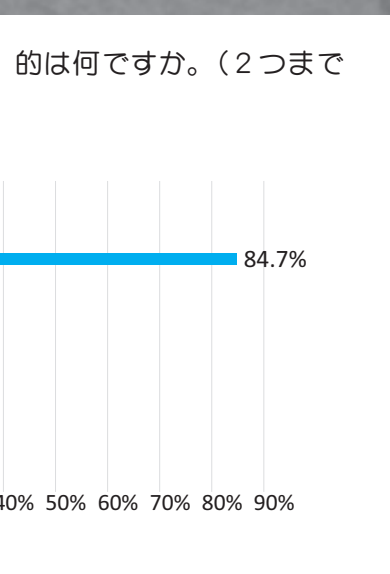
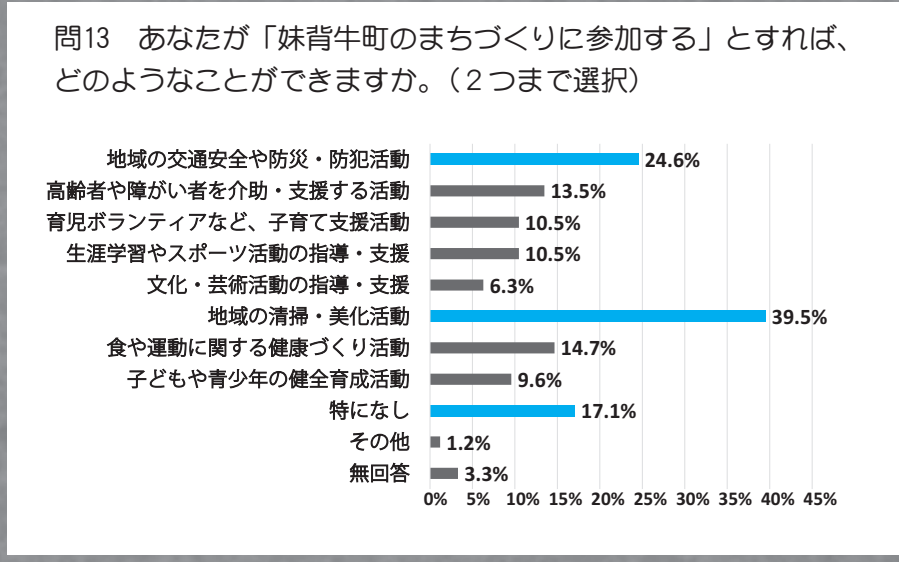
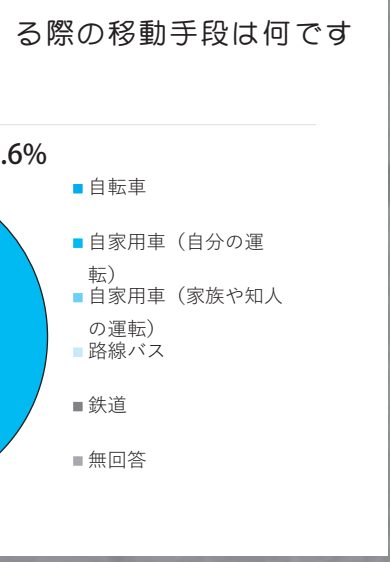
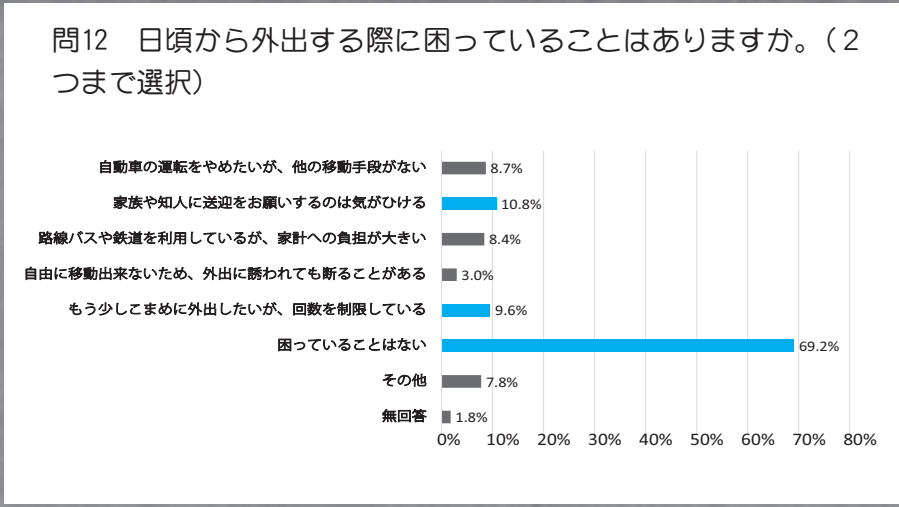
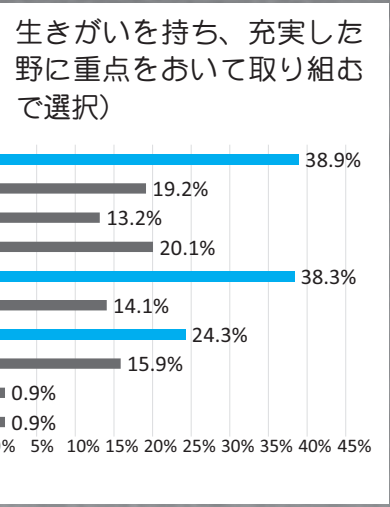
- 道路整備が進んでいない
- 鉄道やバスの交通通学が不便
- 町外への通勤通学に不便
- 農業を行う環境が厳しい
- 企業などの働く場が少ないから
- 子育て環境が不十分
- 教育環境が不十分
- 医療や福祉サービスが不十分
- 学習やスポーツ活動の機会が不十分
- 買い物など日常生活に不便
- 近所付き合いがうまくいかない
- 防犯や防災の面で不安
- 余暇や娯楽を楽しむ機会が少ない
- その他
- 無回答

問2 あなたにとって、妹背牛町は暮らしやすいですか。



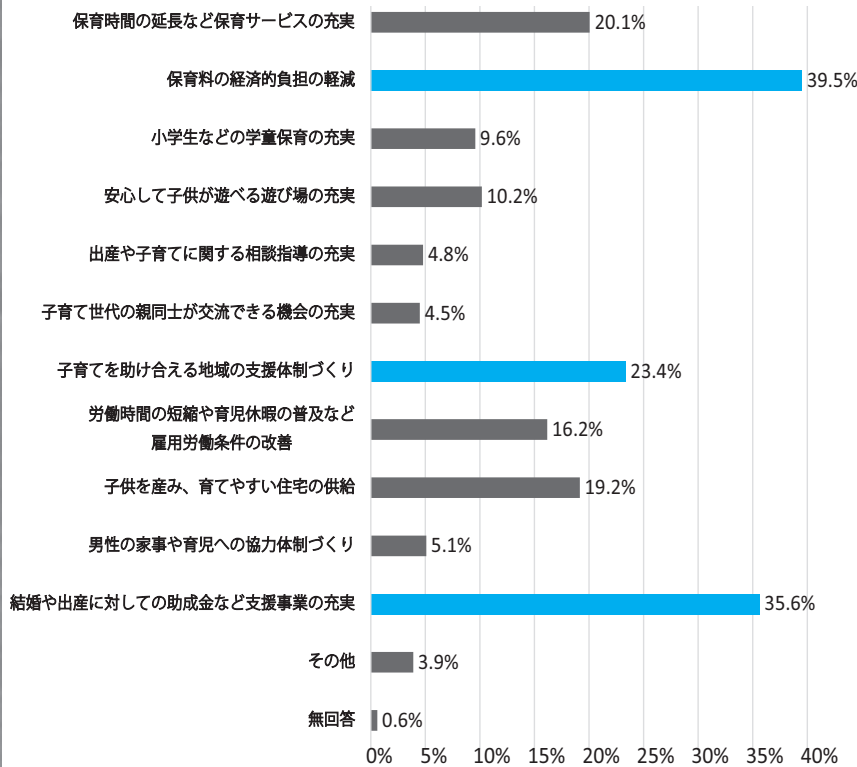
問4 あなたは将来、妹背牛てほしいと思いますか。（2

- 農業や商工業など産業経済が発展するまち
- 犯罪や災害などが少ない安全なまち
- 保険や医療、福祉が充実した安心なまち
- 町民同士のふれあいが豊かなまち
- 生活環境が整った便利なまち
- 自然豊かな美しいまち
- 生涯学習に取り組める充実したまち
- その他
- 無回答

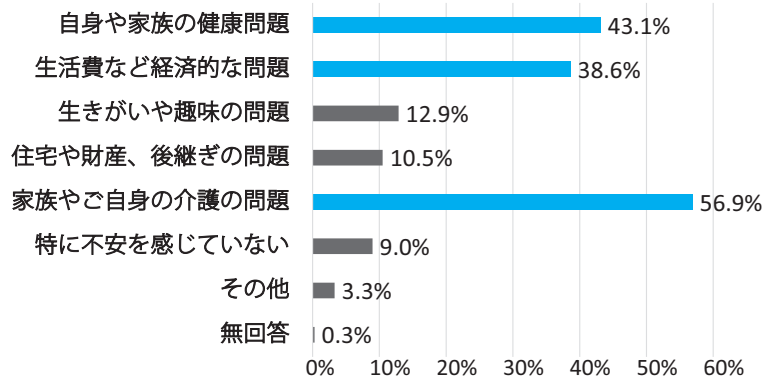


まちづくりアンケート 調査結果

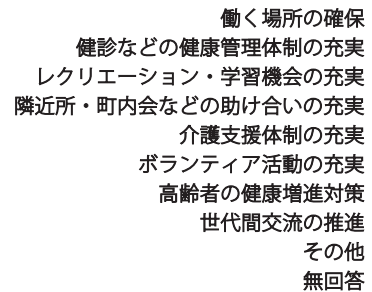
問7 少子化対策として、今後どのようなことに重点をおくべきとお考えですか。（2つまで選択）



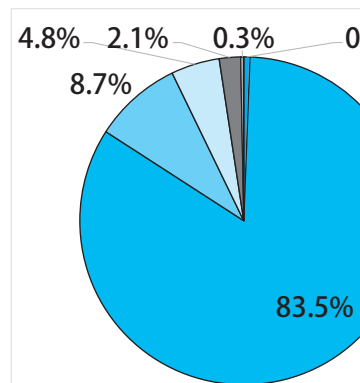
問8 あなたは老後（または現在の生活）に不安を感じていることはなんですか。（2つまで選択）



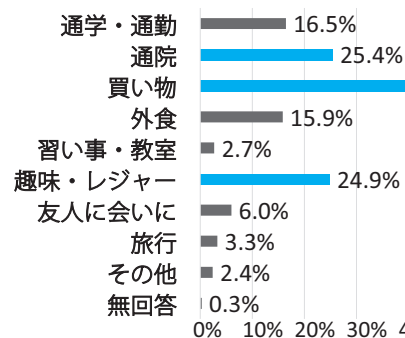
問9 あなたは高齢者が健康で生活を送るためには、どの分べきとお考えですか。（2つまで選択）



問10 あなたは町外へ外出するか。（主なもの1つ選択）



問11 町外への外出で主な目選択)



【福祉分野】

- ・子育て世代が住みやすいまちづくり。保育所・学校施設の充実・教育環境も。
- ・子ども一人出産に対して100万円くらいの大胆な施策。
- ・私は30代ですが、まだまだ自由が利き、何をすることも問題はありませんが、高齢者の身体・心になって考えまちをつくってほしいと思いますし、自分もいずれは高齢者になるわけですから、今のうちからそういうまちをつくっていきたいです。
- ・敬老会に保育園児とか小学生が来て作文を読む（お年寄りに関する内容）。中学校の吹奏楽が来て演奏する。
- ・高齢者世帯には、予防医療の充実を図ることにより、医療費が少ないことが実感できれば住みやすい理由のひとつになるのではと考える。
- ・子育て支援の充実です。近隣の町より少ないような。町の支援がもっとあれば安心して子どもを産もうと思う人はたくさんいると思います。
- ・わかち愛食堂で課外授業の一環とし、小中学生が店員の配膳や手伝いをするような工夫。高齢者と役場の職員だけが店員として働くのではなく、みんなで作り、食べられるような仕組みづくり。

【地域分野】

- ・行政と町民がもっと意見の言える場があっても良いと思う。懇談会以外でも。あと5年、10年後になると、ほぼ高齢者のまちになっているのではないのでしょうか。そのためにも、若者や高齢者の人たちとの交流の場が大切だと思う。
- ・歩道縁石から生えている雑草はせめて市街地域からは根絶させたいので、ボランティアポイント制度など、町民の活動がそちらに向かう方策を望みます。どんな観光地も名所もそういった美化環境を損なうとやがて寂れてきます。今我がまちの現状は寂れに寂れて雑草に覆われています。
- ・各会社にベトナム人からの研修生が来ていますが、ベトナム語や料理など町民と交流する機会があったら良いのではと思います。
- ・今回の地震において、大規模な停電が発生しましたが、今後そのような事に備えて、太陽光発電などの設備を整備した方が良いかと思えます。
- ・懇談会ではなく小さな規模での茶話会的なことをするか、一般町民との意見交換も必要。改革が必要。近隣の真似しか出来ない改革ならやらない方が良いと思う。
- ・地域住民と町職員の意思疎通を図り、今回の意見を公表してほしい。
- ・役場ホームページに英語・中国語・ハンゲルの他にベトナム語版を追加。

「アンケート調査の自由記述」及び「まちづくりへの提言」

「新たなまちづくりへのご提案やアイデア」、さらに「町行政に望むこと」や「まちづくりへの提言」について大変多くのご意見・ご提案をいただきありがとうございました。

紙面の都合により一部抜粋となりますが、分野ごとにまとめ報告いたします。

【産業分野】

・町をはじめとし、就労の場の確保（あらゆる産業）。このまちで働き、子育ての出来る環境を整備。例えば、地元優良企業への雇用促進助成（定住の場合）や雇用につながるような技術開発の後押し。新たな企業誘致。

・メイン道路沿いの空き地・空き店舗が多くなってきているので、起業家誘致をしてほしい。

・気軽にコーヒーを飲みに行けるようなカフェが町内にない。手作りのお菓子を出しながらカフェショップをやりたいという人が何人もいるので、空き店舗を利用して開店できるように助成するなど出来たらいいと思う。小さなまちでもおしゃれなカフェやパン屋、雑貨屋などがたくさんあって、立ち寄りたくなるまちになったらいいと思う。

・楽しい妹背牛にしたい。お祭り・遊歩市などもっともっと子どもたちを前面に押し出してあげたい。例えば、子ども屋台とか。大人がサポートして。

・近隣にドックランなどのペットや動物と過ごせる場所はないので、そういった場所をつくれれば人の出入りが見込めるかも。

・妹背牛町の水田の大区画に整備され、お米の味の良さ、カーリングや温泉のPRを観光地として大きく取り上げ、名産地として呼び込んではいかがでしょうか。特産品のPRに欠けていると思います。

・うらら公園に夏休みたくさんの親子連れの人があるので、お昼ごはんになるものを売り出すなど、妹背牛町の特産品が買える屋台があれば売れると思います。

・妹背牛町でしか味わえないものをつくり、町外から人を呼ぶ（米パン、カフェ、インスタ映え的な）。

・妹背牛の商店もほとんどが高齢化で、この先無くなってしまわないでしょうか。後継者や新しい起業家を誘致してはどうでしょうか。年々人口は減っていく一方だと思しますので、少し考えてみてください。お願いします。

・せっかくカーリングが流行ったのに何もしていないように思える。町あげての何かイベントをすべきだったのでは。ペペルの改修もすべき。あんなに良い温泉がもったいない。

・うらら公園にコインシャワーの設置。ペペルの温泉を引っ張るなどをして経費を抑えることが出来ないか。

・役場、町民会館、ペペル温泉、うらら公園、スポーツ施設などの公共施設に観光・飲食店案内版を設置。定期更新コストを考えると紙ベースで制作し、ラミネート加工でも十分。

【環境分野】

- ・生活しやすい町とは思わないが、これ以上不便にならなければと思う。新たに大きなショッピングモールなどは他にあるので必要ないが、そこまでの移動手段であるバスやJRなどをもっと利用しやすくできないか。そこで買ったものを公共交通機関に乗って持ち帰るのは大変な人も多いと思うので、ハイヤーと協力してもっと利用しやすいシステムの構築を考えてもらいたい。
- ・若者が移住・定住できる雇用・住宅等の確保。
- ・子育て世帯向けのアパートや一軒家を建て、町内企業勤務者の移住推進。通学に便利な1区を優先に空き家をリフォーム・解体・新築。他市町村の取り組みを調べ、良いところは真似していく。
- ・雇用や医療機関、育児に係る体制等が整っていても「住むところ」がなければ妹背牛で暮らすことが出来ないため。
- ・助成金があるのはすごく嬉しいですが、商品券にされると使いどころ難しいと思います。その商品券も期限があったりするので、使いにくいと思います。
- ・町外の若者が住みたいと思える、永住したいと思えることを。若者の永住につながることを。
- ・住民が減れば減るほど、さらに財政は苦しくなると思うので、小さい町だからこそできることを見つけ、若者が町外に出ていかないことや、まち町外の人に移住してくれるような、まちづくりをしていかなければならないと思う。
- ・保健センターからカーリングホールまでの段差が気になります。低速にしても寝ている子どもが起きてしまいます。出来れば直してほしいです。
- ・需要が期待できる企業向けの社宅建設への助成・協力。国の支援の仲介。
- ・建設業者と連携して独身者、新婚世帯向けのアパート建設、推進。

【教育分野】

- ・高度な教育が受けられるようなシステムづくり。予備校のサテライト授業などが受けられる塾など。
- ・簡単に参加できる教室があると良いですね。例えばお年寄りが教えてくれる編み物教室など。お茶のお作法を教えてもらえる教室なども良いと思います。

「アンケート調査の自由記述」及び「まちづくりへの提言」

【その他】

- ・役場職員は妹背牛町に必ず住むこと。そして妹背牛町の今後を思うこと。
- ・自分がこのまちに住んで数年経ちますが、町が住みにくいとか生活しにくいとかではなく、役場や保健センターの人たちの態度がいつも悪い。用があっても行きたくない。腹が立つ。町長から一言言ってください。
- ・町民が一体というより、役場も一体となる姿勢が見たいです。町民が頑張るところに町職員や議員の姿がないのはなぜ？他町村に誇れるまちづくりは行政からでしょう。頑張る姿に町民もついていきます。必ず。
- ・町議会議員は、質問するだけでなく、町民の声を吸い上げ、何をすべきか提言し、その様子と結果を広報（議会だより）で知らせること。ぜひ実施してほしい。
- ・正直申しまして、町長さんが代わっても何も変わらないのかなと思っています。町民のひとりとして変化を実感できることが無いです。このようなアンケートが届きますが、結果をまとめるだけでなく、アンケートを元に実際に改善してほしいです。
- ・新町長、もっとバイタリティーがあると期待していたが、これからなのでしょうか。妹背牛町の良いところをもっとアピールしていくべき。
- ・書いても反映されることがないので。まずは今まで書かれてきたことを実行しようとする意向を見せることではないでしょうか。
- ・町民一人ひとりが自分たちの意見が反映される、自分たちの行動がまちづくりに繋がるということに気づければ、またそのような機会が整っているのなら、自分たちでまちを守る・つくる自覚と責任がうまれると思う。
- ・チャレンジしてください。失敗を恐れなくてやってください。
- ・財政は悪いが何もしないのもどうかと思う。攻めることも大事だと思う。今のままでは夢も希望も持てないのでは。
- ・予算が無いから何も出来ないと最初から諦めるのではなく、町長、議会、職員、町民が一体となって、知恵を出し合うことが大切だと思います。前例が無いこともやってみなければ何も変わっていかないと思います。